

薩摩川内市農村環境計画

人・自然が共生する
豊かな資源を生かした共働のむらづくり



平成20年3月

鹿児島県薩摩川内市

はじめに

農業・農村の機能としては、国土の保全や地域の環境保全に係る側面など多面的機能を有しているにも係らず、利便性・経済性を追求した農業の近代化や農村の都市化によって、かつての豊かな自然や風景は失われ、身近にみられた生き物も絶滅の危機に瀕しています。

このような状況のもと、国民の環境への関心が高まり、国においても平成13年6月の土地改良法の改正により「環境との調和への配慮」が事業実施に原則化されました。また、平成17年に閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」においても「多面的機能や農村に対する期待」として、食料自給のほかに水源の涵養機能、自然環境の保全、良好な景観形成、伝統文化の継承等を具体的に提起し、この継承・推進に係る施策に重点が置かれたところであります。

本市においても、農村における混住化の進展、農業従事者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加による農地の荒廃、無秩序な開発に伴う生態系への影響など、近年、これら農村地域が抱える課題となっています。

そこで、豊かな自然を有している農村地域における事業実施に際して、適切な農業生産活動を通じて国土・環境保全に資するという観点から、農業生産の向上を図りつつ、環境への負荷の軽減に配慮した持続的な農業を推進していく環境保全の基本方針として「薩摩川内市農村環境計画」を策定しました。

本計画では、農家・市民・行政が一体となって農村環境の保全に取組み、「人・自然が共生する豊かな資源を生かした共働のむらづくり」を将来像として、地域力を発揮し、産業活力を創出するまちづくりの目標設定となっており、より多くの市民の皆様のご参画によって実現が可能となるものと心からご期待申し上げる次第です。

最後に、この計画策定に当たって貴重なご意見をお寄せくださった市民の方々、また、慎重なご審議をいただきました本計画策定委員会の委員の方々に心から感謝申し上げます。

平成20年3月

薩摩川内市長 森 卓 朗



目 次

はじめに

本書の構成	1
第1章 農村環境計画の基本的考え方	2
第1節 背景と目的	2
1. 計画策定の背景	2
2. 計画策定の目的	2
第2節 計画の位置づけ	3
第3節 計画の対象範囲	4
第4節 計画の期間	4
第2章 薩摩川内市の現況	5
第1節 概 要	5
1. 位 置	5
2. 沿 革	6
第2節 自然環境	6
1. 地形, 地質	6
2. 優れた自然	9
3. 希少な動植物	10
4. 自然公園などの法規制	17
5. 気 象	19
6. 現存植生	20
第3節 生活環境	21
1. 人 口	21
2. 地域別の面積と人口	21
3. 土地利用現況	23
4. 産 業	23
5. 観 光	24
6. 公共施設	24
7. 道路網	25
8. 公共交通	27
9. 文化財	27
10. 下水道整備状況	28
第4節 生産環境	28
1. 農業人口	28

2. 農地	28
3. 作付主要作物	30
4. 経営耕地及び耕作放棄の面積	30
5. 生産基盤整備	30
6. 重点地区	30
第5節 景観	32
1. 主要な景観	32
2. 地区別の農村景観	35
第6節 生態系調査	41
1. 調査概要	41
2. 調査結果	42
第7節 上位計画・関連計画	43
第8節 住民意向	50
1. 住民アンケート調査(一般)	50
2. 地域アンケート調査(委員)	50
3. パブリックコメント	50
第9節 現況特性と課題	51
第3章 環境保全の基本方針	57
第1節 農村環境の基本方針	57
第2節 環境保全の基本方針	57
1. 美しい自然と共生する	57
2. 活力と交流に満ちた農業農村を創る	57
3. 住みやすいむらを創る	58
4. みんなで共働のむらを創る	58
第3節 土地利用の基本方針	59
1. 土地利用の基本的考え方	59
2. 土地利用の基本方針	59
第4章 農業農村における整備計画	60
第1節 施策の体系	60
第2節 施策の基本目標	61
1. 美しい自然と共生する	61
2. 活力と交流に満ちた農業農村を創る	63
3. 住みやすいむらを創る	68
4. みんなで共働のむらを創る	71

第3節	タイプ別整備方針	73
1.	ゾーニングの考え方	73
2.	タイプ別整備の基本方針	73
3.	ゾーン別特性と基本方針一覧表	74
第5章	農業農村整備事業における環境への対応方策	77
第1節	配慮すべき自然環境	77
1.	自然生態系	77
2.	優れた自然	84
3.	文化財	85
4.	景観	89
第2節	各事業における環境配慮事項	90
1.	予定される農業農村整備	90
2.	工種ごとの環境配慮事項	91
第3節	タイプ別環境への対応方策	94
第6章	事業の推進	101
第1節	推進体制	101
第2節	住民参加	102
第3節	関係機関との調整	102
●資料編		巻末

おわりに

本書の構成

第1章 農村環境計画の基本的考え方

計画策定にあたり、計画の背景、目的、位置づけ、対象、期間など基本的な事項について示しました。



第2章 薩摩川内市の現況(薩摩川内市の農村環境の評価)

本市における農村環境の現状を既存資料調査、住民アンケート調査、委員アンケート、代表地点の踏査、生態系調査及び上位計画、関連計画の把握を行い、総合評価を行いました。



第3章 環境保全の基本方針

農村環境目標別将来像とそれを実施する環境保全の基本方針として自然環境、生産環境、生活環境についての考え方を示しました。また、土地利用の基本方針も示しました。



第4章 農業農村における整備計画

基本方針を農村環境面で具体化し、基本目標と構想を示しました。
タイプ別整備方針を示しました。

第5章 農業農村整備事業における環境への対応方策

農業農村整備事業を進めるにあたり、配慮すべき環境を示しました。また、事業別に環境配慮事項を設定し、留意点を示した環境配慮指針です。



第6章 事業の推進

今後、農村環境計画に基づいて事業を実現するために推進体制、住民参加、関係機関との調整などについて整理しました。